

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 19日

奈良県知事 殿

## 提出者

住 所 奈良県吉野郡十津川村谷瀬4番地

氏 名 光和建設株式会社

代表取締役 栗原 圭文

電話番号 0746-68-0185

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	光和建設株式会社
事業場の所在地	奈良県吉野郡十津川村谷瀬4番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 27,000万円
③ 従業員数	18名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(建設工事)</p> <p>がれき類→再生処理業者に委託して再生碎石として再生資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップ堆肥として再生資源化 廃プラスチック類→処理業者に処理委託（焼却処分）</p> <p>(解体工事)</p> <p>がれき類→再生処理業者に委託して再生碎石として再生資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップ堆肥として再生資源化 廃プラスチック類→処理業者に処理委託（焼却処分） ガラスくず、陶磁器くず→処理業者に処理委託（埋立処分） 建設混合廃棄物→中間処理で破碎選別し再資源化（製鉄、製紙、プラ原料）及び埋立処分 管理型混合廃棄物→優良認定処理業者へ処理委託</p>

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）



現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
産業廃棄物の種類	別紙のとおり
排出量	t t
(これまでに実施した取組)	
特になし	
【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
排出量	100 t t
(今後実施する予定の取組)	
特になし	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物発生時からできるだけ再生資源化できるように分別する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物発生時からできるだけ再生資源化できるように分別する

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	—	—
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)		
実施していない		
【目標】		
産業廃棄物の種類	—	—
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)		
実施する予定なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)		
実施していない		
【目標】		
産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)		
実施する予定なし		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	—
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t
①現状		(これまでに実施した取組)	
		実施していない	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	—
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t
②計画		(今後実施する予定の取組)	
		実施する予定なし	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり
		全処理委託量	t t
		優良認定処理業者への処理委託量	t t
		再生利用業者への処理委託量	t t
		認定熱回収業者への処理委託量	t t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
①現状		(これまでに実施した取組)	
		可能な限り再生処理業者への処理委託を行い、最終処分量の軽減をはかる	

【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
全処理委託量	100 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t
再生利用業者への処理委託量	100 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
②計画 (今後実施する予定の取組)  可能な限り再生処理業者への処理委託を行い、最終処分量の軽減をはかる	
※事務処理欄	

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	1517 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	4 t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物
	排出量	23 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず
	排出量	5 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物
	排出量	9 t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類
	全処理委託量	1517 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1517 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	全処理委託量	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4 t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14 t
	再生利用業者への処理委託量	23 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t